

詰め替えカートリッジご使用方法

[キヤノン BC-311+310・BC-341+340・BC-346+345・BC-361+360 対応]



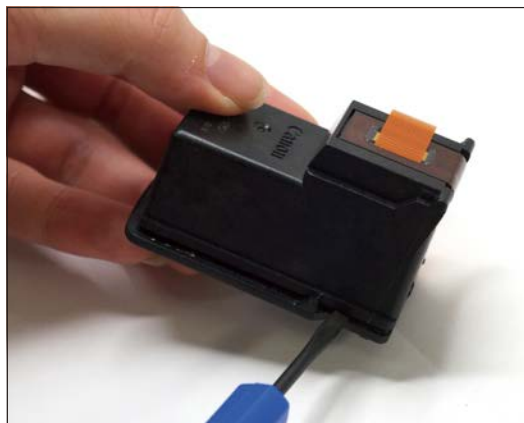
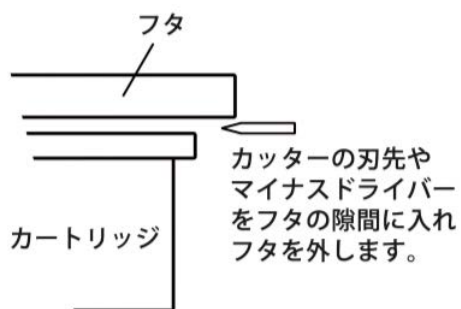
- ※ 純正カートリッジはフタを開ける加工を行い、本製品のケースとして使用いたします。
- ※ 本製品は、標準サイズ・大容量サイズ(XL)にも対応しております。

⚠️ ご利用には純正カートリッジが必要です!

純正カートリッジのフタを取り外す。

カッターで純正カートリッジのフタに隙間を入れ、マイナスドライバーでフタを押さえながら、純正カートリッジのフタを取り外します。

※こちらの作業を一度していただくと次回から簡単にインク交換していただけます。

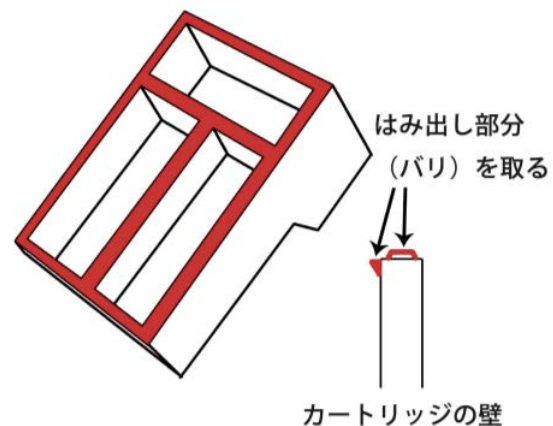


⚠️ 手をケガしないようご注意ください。

純正カートリッジ内のスポンジを取り外す。

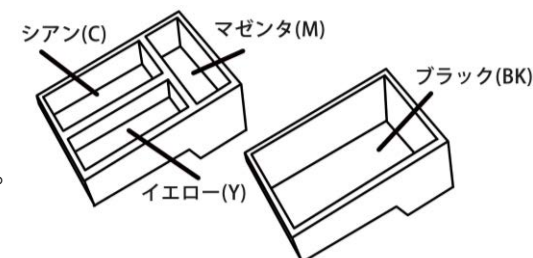
マイナスドライバーで古いスポンジを取り外します。若干量のインクが残っている場合がありますので、インクが飛散しないよう丁寧に行ってください。

また、スポンジを取り外した後、下図の赤い箇所にはみ出し部分(バリ)が残っている場合は、カッターで削り取ってください。



詰め替えカートリッジの取り付け。

純正カートリッジのスポンジを取り外したら、本製品(詰め替えカートリッジ)を入れます。必ずスポンジが入っていた該当色の個所に同色の詰め替えカートリッジを入れてください。



最後にカートリッジの保護シールをすべて外して完成です。

カートリッジを詰めた際に、隙間なくきっちりとはまらずに、純正品と比べると若干浮いているような状態になりますが、本製品の正常な状態です。

インクを詰め替えた後の作業

[キヤノン BC-311+310・BC-341+340・BC-346+345・BC-361+360 対応]



インクを詰め替えてもインク残量の表示が増えない場合（右記の表示※プリンターの機種によって多少異なります）、「インク残量検出機能の無効化」を行う必要がございます。

※純正インクカートリッジは、ICチップのデータからインクの使用量を計算して残量を表示している為です。

そのため、インク残量検出機能の無効化の設定が必要となります。

※この作業方法についてはキヤノンとは無関係であり、承認されたものではありません。

※一度この設定をすることで、以降は詰め替えインクがご使用いただけます。

プリンターのエラーランプが点滅したり、パソコンモニター上でエラー表示が出る場合は、再度この操作を行ってください。

※インク残量検知機能を無効にした後はインク残量警告やインク残量が表示されませんので、印刷の際はあらかじめノズルチェックパターンなどでインクの有無を確認しながら行ってください。

※インク残量検知機能はカートリッジを再び新品カートリッジに替えることにより、有効になります。

<p>インクが 少なくなっています</p> <p>サポート番号 1686</p>	
<p>インクが なくなりました</p> <p>サポート番号 1688</p>	



プリンターのストップボタンもしくはリセットボタンを
5～10秒、長押ししてください。
プリンター本体のインク残量検出機能が無効化されます。